



環境・歴史・文化・健康の庄(むら)

吉富ノ庄だより 第7号

発行日 平成28年 5月16日
発行責任者 吉富ノ庄運営委員会
会長 廣瀬 稔

吉富ノ庄二年目のスタートを切る !!

吉富ノ庄運営委員会 会長 廣瀬 稔

昨年の四月一日から吉富ノ庄が事実上のスタートを切ったのでありますが、何をどのようにやっていけば良いのか、全く手探りのスタートでした。

南丹市も地域振興課を窓口にして、お互い話し合いながら色々なことが決まっていきました。

四月中旬に吉富ノ庄管理の臨時職員も決まり、月一回の定期的な運営委員会を中心に少しずつ歩みがスタートしました。旧JA二階に会議室を設置することができ、五月には堤防とグラウンドの草刈を運営委員会、協働担当職員で実施しました。

駐車場についても、整備計画を南丹市と打合せ進めました。吉富地区の懇談会で皆様から最も意見が出た「気軽に、いつでも集まれる、ふれあいサロン」を作ってほしいとの要望に応えるため、職員室の机・ロッカーを一年生教室に移動させ、床の研磨洗浄とワックス掛けにより、ピカピカに仕上げました。八月の初めには、木楽工房のテーブルと椅子2セット、美山の山匠のテーブルを設置し、ふれあいサロンがオープンしました。八月末には、吉富ノ庄オープニングイベントに向けての実行委員会が立ち上がり、ふれあいサロンに掲示板ができ、卒業生の記念写真等を展示することができ、ますます雰囲気は盛り上がってきました。

十一月二十三日のオープニングイベントに合わせ、駐車場の整備も完了し、吉富ノ庄の看板も設置され、雨の心配をされる中、オープニングイベントが華々しく開催されました。田島征彦氏の作品の特別展覧も華を添えていただき、六百余名の入場者を迎え、成功裡に終了しました。

京都・丹波・吉富ノ庄憲章
私達の住んでいるところに誇りを持とう
私達の住んでいるところをより良くしよう
なぜならここは 地球上に一つしかない
大切な場所だから
共に学び合い 喜びを感じよう
共に助け合い 潤いのある時間を持とう
そのために 自分ができる範囲のことを
精一杯しよう
そして 吉富から絆の輪(和)を広げ続けよう

《 吉富ノ庄運営委員会 》

名誉会長	立花敏則 (玉ノ井)
	[28年度区長会長]
会長	廣瀬 稔 (南廣瀬)
副会長	廣瀬良樹 (八木嶋)
事務局長	西田哲也 (池ノ内)
運営委員	藤林浩一 (鳥羽)
	羽野高弘 (美里)
	仲 篤男 (室河原)
	大西藤男 (木原)
	今西啓泰 (玉ノ井)
	塩貝 毅 (折戸)
	廣瀬正明
	塩田康文 (木原)
	[28年度副区長会長]
会計監査	廣瀬久男 (八木嶋)
	[28年度副区長会長]
	今西久雄 (室河原)
	[28年度区長]
南丹市協働担当職員	
	人羅 均 (土木建築部主幹)
	後藤昌則 (教育委員会参事)
	今西 均 (八木支所地域推進課長)

去る四月二十九日、二十八年度西地区区長会との会合により、新たなメンバーを加え、二十八年度吉富ノ庄運営委員会が発足いたしました。

今年は、二年目に当たり、より多くの人々に吉富ノ庄を知っていただくと共に、活用していただくことに力を注いでいくと考えています。具体的には、以下のことを考えています。

一 吉富ノ庄のホームページを立ち上げ、色々の行事の内容を広く発信する。

一 地区計画の完成に合わせ、テナント募集をするための吉富ノ庄のプロモーションビデオを作製する。

一 この一年間で色々活躍していただいた女性グループの力を最大限生かしていただき、ミニイベントを実施していただく。

一 二十八年十月三十日(日)、第一回吉富ノ庄まつりを実施する。

一 戦後七十年の全ての卒業写真を揃え、各学年二、三名のサポーターを募集し、卒業生(同窓生)のネットワークを構築する。

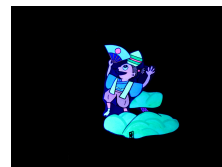
これらにつき、皆様のご意見をお待ちしています。

一年を迎える吉富ノ庄で催し 続々……

《桜満開の4月2日（土）
昭和31年卒業生のクラス会》



桜満開のもと、ふれあいサロンに十七名の卒業生が集い、室河原のジェノアさんのケータリングにより楽しく食事をし、吉富小学校一四一年の歴史の映画鑑賞、ビンゴゲーム、二次会はグラウンドゴルフに興じ、あつという間の一日でした。皆様本当に楽しかったと言われていました。費用も料亭の六割位で済み、余ったお金の一部を運営委員会に寄付していただきました。



「夢のひこうせん」

絵本の読み聞かせグループで、ブラックパネルシアターを中心に、お話の世界をみんなのところに届けています。

2006年結成 9名が八木町を拠点に町内外で活躍されています。（代表：中川佐由美さん）

「田島征彦文庫」開設ミニイベント

平成二十八年三月六日（日）午前十時から約五十名の子供さんを含む参加者のもと、ミニイベントが開催されました。銘板の字は田島征彦氏と親交のありました室河原の山口春代様にお願いたしました。ご高齢とは思われない力強い字体であります。

寒さが終わり、春の暖かい気候になるにつれ、吉富ノ庄を活用していただく人々が徐々に増えて来て、大変ありがたく思っています。

各区の老人クラブの方がグラウンドゴルフに興じておられる姿が多く見られています。

グラウンドゴルフ協会が毎週木曜日に使用されていますが、一人でも二人でも参加していただければ一緒に楽しみましょうと呼びかけておられます。（道具は、一部を管理人が預かっています。）

また、3月11日（金）に難聴の会の皆様が鍋料理を楽しまれ、大好評であったため、5月20日（金）の予約が入っています。

南丹市と協議し、4月以降の使用ルールを簡素化しました。使用団体、使用目的、責任者名を吉富ノ庄（42-2122）に、月水金の9時～16時に電話ください。

また繋がらない時は、廣瀬稔（090-1917-2663）に電話ください。

他に予約がなければ、その場で了解します。

ただし、体育館とグラウンドの使用については、使用当日に申請書を出していただきます。

その他については、管理人に申し出てください。ふれあいサロンには、冷蔵庫、ポットをセットしていますので自由にご使用ください。

平成元年 卒業生 タイムカプセル 掘り出す



クラス会の幹事他8人と子供達6人、そして担任の養内先生を迎え、去る4月19日雨上がりの午後、吉富ノ庄グラウンドバックネット裏に埋められているカプセルを掘り起こすために集合した。

埋められていた場所が見つかり、掘り出し作業が続いた。

最初にビニール袋に包まれたポリバケツが見え、更にその中に、小さめのポリタンクが二重に入れられていた。その小さめのポリタンクは、八重にビニール袋が重ねられ、シリカゲルが目一杯入れられていた。



最後にポリタンクを開けると、中に水は一才入っておらず、懐かしい作品は入れたままの姿で、28年振りに卒業生の手に戻り、歓声につぐ歓声で、懐かしく見入っていました。